

## 平成31年度 山王保育所事業計画

### 1. 概要

#### ①運営方針

- 大阪市の施策として待機児童の解消に向け今年度も新設保育園、小規模保育所の開設、幼稚園から子ども園への移行が行われます。西成区に隣接している阿倍野区、浪速区も飽和状態で待機児童数が0の状況です。今までは隣接地区からの入園児数が全園児数の30%を占めていましたが今後減少していくことが予想されます。このような環境の中、選んで頂ける園となるように人材育成に努め、より一層の教育・保育内容の充実を図り、ホームページやドキュメンテーションで子どもの成長する姿をわかりやすく発信していきます。
- 2019年度10月より3・4・5歳児の保育料無料化に伴い副食料が自園での徴収になります。大阪市では副食代は決定していませんが、食育も含め「食」の提供に不安を感じます。現在の給食の運営を業務委託も視野に入れ見直しを行います。
- 平成30年の地震、台風は身につまされるものがありました。今年度も継続して危機管理研修に参加し、マニュアルの勉強会を行います。また、災害時のシミュレーションを行いどの職員も役割が分かって動ける組織づくりをしていきます。
- 来年度より小学校以上の教育指導要領がかいていされます。小学校のスタートカリキュラムを理解し、子どもが戸惑いの無い学校生活を送れるように指導計画の見直しを行います。

②定 員 90名

③事業日数 291日（日曜、祝日及び12月29日より1月3日は休園とします）

④開所時間 平日7：30～18：30 土曜日7：30～18：30

#### ⑤保育時間

（保育標準時間） 平日・土曜日 7：30～18：30

（保育短時間）	平日・土曜日	早朝保育	7：30～ 8：00
		通常保育	8：00～16：00
		延長保育	16：00～18：30

#### ⑥職員数

園長 1名、主任1名 保育士16名（うち契約職員3名 パート派遣保育士2名）栄養士1名  
調理員 3名（うちパート調理員2名）、嘱託医（内科・歯科）各1名（内科年3回、歯科年1回 健診）

## 2. 保育運営

### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②保育方針

- 子どもたちが生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 保護者との信頼関係を築き、安心して預けられる保育の場を提供する。
- 地域における子育て支援のため、保育に関する相談や助言の役割を果たす。

### ③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判定、言語理解など）と否認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラスの編成及び職員配置

0歳児	さくらんぼ組	9名	保育士3名
1歳児	いちご組	12名	保育士2名
2歳児	もも組	12名	保育士2名
3歳児	くり組	18名	保育士2名（うち3歳児加配パート保育士1名）
4歳児	みかん組	19名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
5歳児	かき組	20名	保育士2名（うち障がい児加配保育士1名）
合計園児数		90名	保育士13名
障害児保育担当保育士		2名	
フリー保育士		2名	

### ⑤保育内容

- 全体的な計画に基づき、年間カリキュラム、月案、週日案と繋がりのある計画を立て、その目的を理解して日々の保育を行います。
- 乳児クラスは緩やかな担当制保育を行い安心して一日過ごせる人的・物的環境を整えます。年々子どもと遊ぶ事の苦手な保育士がふえています。保育士のためにも、「じゃれつき遊び」「少人数での食事タイム」を継続し、担当保育士の応答的なかわりをもって愛着関係を築いていきます。また、乳児クラスの基盤の上に幼児クラスがあることを念頭に置き、一人ひとりの育ちを観察し個別計画を立てそれに沿った援助を行います。

- 幼児保育は一日の保育の流れに沿って日課のある保育を進めます。今年度も毎朝の「意味ある運動」に取り組み脳内ストレスを発散して落ち着いた一日を始め、静と動の活動を交互に行います。保育を進める中でその保育の目的を捉えたアプローチを行い、子どもの探究心や自分で考える力を培い、友達や保育者との共感や一緒に出来た満足感の経験を積み重ねコミュニケーション能力を育みます。
- リーフレット「種をまこう」を教材として月1回人権教育を行います。また、保育者も児童憲章の勉強を行い、一人ひとりの子どもの人権を尊重した保育を行います。虐待への早期発見に努めます。
- 栄養士が中心となり立案した「年間食育計画」の下、菜園活動や調理活動に取り組み、子どもを通して保護者に発信し、家庭でも「食」に対する意識の向上に繋がります。また、食事のマナーやよく噛んで食べることなど日々の生活の中で丁寧に根気よく伝えていきます。
- 今年度も外部講師による、音楽指導（和太鼓）・英語指導・歌唱指導・サッカー指導・絵画指導を行います。それぞれ指導の開始時期は違いますが、継続による力がついてきている事を実感しています。様々な活動を通して意欲や達成感を味わい、集団で一つのものを作り上げる喜びをより実感できるようにしていきます。

#### ⑥家庭との連携

- 保育参加（年2回）・全体懇談会・クラス懇談会・個人懇談会・家庭訪問・（各年1回）を通しクラスの取り組みや、ドキュメンテーションを活用して子どもの育ち、教育・保育内容を伝えます。また、保護者の意見を傾聴し互いに理解しあう中で保育が進むようにします。
- 年々夜型の家庭が増えるに伴い、子どもの睡眠時間も減ってきています。毎年度「早寝・早起き・朝ごはん・朝UNCH」の大切さを奨励していますが、以前に比べ朝ごはんを食べてくる子どもが増えているようですが、食事の内容については栄養の充足ができていないようです。同時に、睡眠時間の短い子どももふえています。朝の意味ある運動や、生活習慣の見直しについての正しい生活リズムは乳児のときから大切であることの情報発信を行い、健康な生活習慣を家族で作る事の大切さを、お便りやクラス懇談会の場で、根気よく伝えていきます。
- 発達障がいのある子どもの家庭には、毎月、面談で保護者の意向を聞き取り、個別計画を立て保育を進めます。また、療育施設と意見の交換を行い同じ方向性で進めるように連携を図ります。
- 家庭の状況に応じ要保護児童対策会議に参加し社会資源と連携し地域と共に支援します。
- 卒園児・転園児とその保護者への支援について、卒園・転園後も継続して行き、子どもたちを見守り、園長が相談窓口として受け付けます。

#### ⑦人材育成

- 平成30年度に初めて主任、副主任の人事を行いました。初めての事に戸惑いや遠慮する姿が見られました。その役割を当人、全職員に明確に示し、当人自身もしっかり学習をすることで、自信にも繋がるので、主任を中心とした学習体制を構築し、組織力の向上に努めます。

- 今年度4名の新入職の保育士を迎えます。よい機会と捕らえ、リーダーの役割や指導法を具体的に伝えリーダー育成を行います。また、クラスごとに「一日の保育の流れ」の勉強会を行い、園長、主任がクラスに入りOJTを行う中で、なぜそうするかを分かりやすく伝え「一日の保育の流れ」の徹底を目指します。
- 互いに意見の出しやすい環境を作り、一人ひとりの保育士の思いにも耳を傾け、元気に前向きに日々保育に励めるように努めます。
- 年間の職員研修計画に基づき園内外の研修に参加し、保育の質の向上と同時に、法人理念・方針を達成できる職員育成に努めます。また、キャリアパスを見据えた研修参加の機会を図ります。今年度もスマイルサポーター養成研修に1名参加します。
- 小学校の指導要領の改訂に伴い、昨年度にかいていされた、組織の全体計画に示している、幼児期に育てる10の内容について、職員間での学習の機会をもち、認知、否認知能力について学習を進める予定をしています。

#### ⑧地域の実態に対応した事業

##### 地域子育て支援事業

西成区、阿倍野区、浪速区、天王寺区の支援室、保健師等、社会資源と連携しながら進めていきます。また、ホームページや情報誌「はぎっず」にて情報発信をします。

- 月に4回地域交流を行います。(10:00~11:00)  
第2金曜日…近隣の親子が安心して遊べる憩いの場としての園庭開放を行います。  
第1.3.4金曜日…保育体験日。年齢に合ったクラスに親子で参加します。
- プール開放や運動会、クリスマス会など行事に地域の親子を招待します。
- 「あそぼパーク」に協賛し地域の未就園児を招待します。
- 「スマイルサポーター」の活動を通し相談事業を行います。

##### 地域活動

- 天下茶屋保育所、天下茶屋幼稚園、若草保育園と保幼交流を行います。
- 山王老人会や、隣接している老人施設みどり苑と和太鼓演奏を披露し交流を行います。
- 就学先の小学校を訪問し各教室や授業風景を見学し就学に向け意識付けをします。
- 金塚小学校主催の「金塚祭り」に参加し小学生と交流します。
- 今宮中学生の職場体験学習の受け入れをします。
- 小学校の先生の社会体験の受け入れをします。
- 天王寺動物園と連携し、保育園で収穫したじゃがいものプレゼントをします。
- 西成警察署と連携し地域防犯活動やクリーンキャンペーンに参加します。
- ボランティア学生の受け入れをします。

#### ⑨苦情処理

- 第三者委員2名の設置をし、苦情解決の責任者を園長、苦情受け付け担当者を主任とします。苦情解決システムについては園のガイドブックやポスターの張り出し、入園説明会で保護者に周知します。

- 「ご意見箱」を2箇所設置し、保護者からの意見の集約をします。  
寄せられた意見について、全職員に周知し速やかに改善計画を立て再発防止に努めます。また、概ね24時間で回答書を貼り出し、協議中の事案については経過の報告をします。
- ヒヤリハット活動の活用により保育士も含めた環境の見直しを行い、事故を未然に防ぐ事を重点的に進めます。

#### ⑩リスクマネジメント

- 「よい子ネット」の登録の重要性について保護者全員に周知し、非常災害時や感染症発生状況等の配信を随時行っていきます。
- 危機管理委員会を発足し、危機管理マニュアルの見直しと園内研修計画の元全職員に周知します。
- 保健年間計画に基づき、感染症・SIDS対応・誤飲誤嚥・予防接種・食中毒・救急看護等の園内研修を行います。特にSIDS・溺水・吐瀉物の処理は役割を決めマニュアル通りシミュレーションして実際に備えます。
- 災害に備え備蓄品等防災グッズの確保と点検を行います。
- 月1回防災訓練を実施します。(火災・地震・津波・台風・消火訓練・通報訓練等)
- 救命救急の職員研修(年1回5月・西成消防署)また、総合災害訓練(火災・消火・地震)(年1回11月・西成消防署)を行います。不審者対策訓練(年1回2月・西成警察署)を行います。

#### ⑪その他

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ●床の清掃ワックスがけ | 129,600円  |
| ●パソコンデータ管理  | 約300,000円 |